

5 月かあ……

株式会社榎戸材木店
会 長 榎 戸 正 人

5 月。昨年の組合月報には我が家の花壇に咲くバラの話を書きました。またバラの話題では「バラバラ」になってしまうので、なにか別の話題を考えなくてはと思うのですが、意外と 5 月って話題が少ない……

4 月は新学年で、通学路となっている家の前を真新しいランドセルを背負った新一年生が浮き浮きと、中には不安げに母親に手を引かれて入学式に向かう小学一年生の姿に、自分にもあんな時代があったなと、ほほえましく思います。

テレビのニュース番組では、学校を卒業して新社会人となった若い人たちが、「これから頑張ります！」と元気に話す姿が報じられ、こちらも元気をもらった気分になります。春はすべての始まりです。

ところが……それからわずか 1 ヶ月……5 月になると突然、元気がなくなる。5 月病と言われる症状ですが、学校に入った子供たちも、社会人となった人たちも、こんなはずではなかったと、心が沈んでしまう。本当は営業に所属してお客様と接して色々な話をしたかったのに、経理部に配属されて毎日毎日、パソコンの数字とにらめっこ……これでは落ち込んでも当然でしょう。

それを乗り越えて勤めを続けるか、会社を辞めて転職するかの分かれ目です。アメリカ人は一生に 13 ～ 14 回転職するが、日本人は 3 ～ 4 回しか転職しないと報じられていました。それを聞いた時は日本人でも 3 ～ 4 回は転職するんだと思いましたが、これは平均なので中には数カ月で会社を辞めて職探しをする人もいるのでしょう。

どんなことにも「こんなはずではなかった……」ということはあると思いますが、職選びというのは生活に関わることなので、5 月病を乗り越えられるかは大きな問題です。世の中には天職というものがあり、一流企業のサラリーマンが会社を辞めて陶芸家に弟子入りし、「これだよ、これ！陶芸がオレのやりたかった仕事だ！」というケースもあります。その意味では転職をするのにも意味はあります。

私も転職ではありませんが、材木屋の隠居をしながら文筆業に関わり、5 月頃には本らしい本を出版することになりました。この原稿を書いているのは 4 月初めなのでまだ出版されていませんが、本らしい本と言っても、常識破りのまったく本らしくない本なので、少しは話題になるかなと期待はしています。

アマゾンには印税が安いので、1000 部売れてもお小遣い程度にしかありませんが、孫と食事に行くくらいは稼げるかなと……もっとも、出版費用に 300 万円以上かかっているのです。お小遣いどころではありませんが、ゴルフや釣りが趣味だという人たちも年間に多くのお金を費やしているのしょうから、趣味としてはこんなものかなと思っています。

体力が衰えて来て家庭菜園はシンドクなってきたので、これからは執筆を趣味にしたいと考えています。組合報の連載も続けますよ！